



おともがわ

学校報 NO, 13

保護者版

令和3年7月2日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

秋田県少年少女陸上競技大会 (6/27)

～○○○○さん 自己ベストを更新！～

この大会は県営陸上競技場で開催され、本校からは○○○○さんが出場しました。○○さんが出場したのはコンバインドA(80mハードルと走り高跳びの2種競技)で、この種目には○○さんを含め、各郡市予選を勝ち抜いた15名の選手が出場しました。

最高気温が30℃を超える中での競技となりましたが、○○さんは、80mハードルで16秒22(570点)、走り高跳びで1m15(861点)を記録し、合計得点1431点と、自己ベストを更新しました。(郡大会の得点は1154点)惜しくもあと一步で入賞には届きませんでしたが、県大会という大きな舞台で自己ベストを出せたことは大変素晴らしいことであり、また、本人にとっても大きな自信につながったことと思います。おめでとうございます。

また、大会に向けた放課後の練習では、6年生有志が用具の準備等を手伝ってくれました。仲間を自分から進んで支えようとする姿勢を大変素晴らしく感じました。ありがとうございました。



見事なハードリング



1m20に挑戦

4年生 フィールドワーク (6/30)

4年生が横手市にある県立近代美術館へフィールドワークに行ってきました。今回の訪問のねらいは、特別展「カラクリ展」や常設展を鑑賞し、作品の動きの楽しさや表現の特徴を感じ取り、美術作品の見方や考え方を深めることにあります。

訪問した子どもたちは、次のような感想を話してくれました。

「カラクリ展で印象に残っているのは、『スキーをする犬』です。なぜかという、木で作られていたが、手と足が一緒に動いて見えたからです。また、カラクリは木だけでしか作られないと思っていましたが、厚紙で作った作品もあり、いろいろな材料が使えることが分かりました。」

各学年とも、様々な施設や地域に出かけ、フィールドワークを実施しています。地域のよさや各分野で活躍されている方の素晴らしさを感じ取ってくれればと期待しています。



内小っ子の活躍

第24回秋田県小学生柔道選手権大会

(6/13 秋田県立武道館)

☆ 6年女子体重別 第2位:○○○○さん

上記の大会で、○○○○さんは全県2位という素晴らしい成績を収めることができました。おめでとうございます。

本人に大会の様子を振り返ってもらいましたので紹介します。

私は今回、決勝戦でいつも戦うライバルに負けてしまいました。今回の試合の反省点は、技をかけきれなかったことと、足技で崩さなかったことです。

次の試合では、今回の反省点に加えて、引きつけてかけることを意識して、試合に臨みたいです。また、相手の苦手なことをやったり、苦手意識を消したりしたいです。今度は、第1位を目指して頑張ります。